

私立短期大学図書館協議会

会報

Bulletin of Junior College Library Association

発行者：安部 叁 巳
 発行所：私立短期大学図書館協議会
 〒228 相模原市文京2-1-1
 相模女子大学短期大学部図書館内
 電話：0427-42-1411

1994. 9 No. 35

平成六年度総大会開催

— 会費値上げ決定 —

日時 平成6年5月27日(金) 13:00~14:30
 会場 亜細亜大学太田耕造記念館(東京・武蔵野市)
 出席 58館 委任状232館 計290館



菅原春雄氏(文教大学女子短大部・理事)の司会により開会。まず安部叁巳会長(聖徳大学短大部)が挨拶で次のように述べた。
 「短大設置基準の大綱化が決まってから3年になり、

短大も大きな変貌を遂げてきた。カリキュラムの改編、地域開放など、いろいろな形でこの存亡の時を乗り切ろうと努力している。皆様の短大でも図書館と教育、つまりは、よりよい短大をめざすための図書館の出番ということで少しずつ具体的な行動に出るのがこの時期ではないか。最近のレポートをみると、大綱化に伴うものと機械化に伴うものがめだつ。大綱化というと自己点検・自己評価がある。これには強い関心をもっている。機械化は大部進んでいるようである。この背景にあつて私短協は何ができるか。本協議会は、全国的な活動と地方の経常的活動が相まって進展していくことを目的にスタートしている。よりよい組織活動をしてそれぞれの短大の発展を考えよう。」

引き続いて議事に入った。

議長 星野 命氏(北陸学院短期大学)

記録 平塚 悦子(跡見学園短期大学)

議題1. 平成5年度活動報告(吉岡理事)

①会勢(平成6年5月2日現在)

北海道地区	20館(+1)
東北地区	15館
関東甲信越地区	103館(+2)
東海北陸地区	45館(+1)
近畿地区	74館(+2)
中・四国地区	30館(-1)
九州(含沖縄)地区	36館(+2)
計	323館(+5)

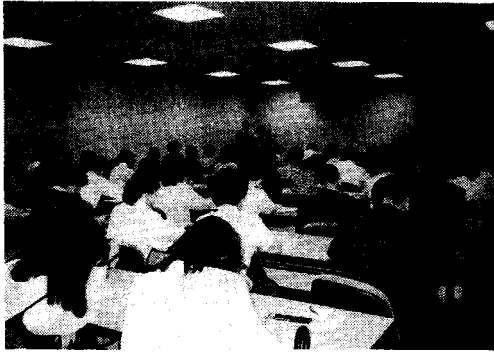
注：()内は平成5年度増加館数

②活動報告(地区活動については会報で報告)

- 1) 全国理事会(平成5年5月27日)
 - 2) 平成5年度総会開催(平成5年5月28日)
大会終了後、見学会実施
 - 3) 平成5年度短期大学図書館全国研修会の開催
11月18~19日、全水道会館、詳細は会報34号および「短期大学図書館研究 第14号」(1994)参照
 - 4) 「短期大学図書館研究」第13号の刊行と加盟館への配布
 - 5) 会報33・34号の発行と加盟館への配布
 - 6) 7地区協議会への活動助成および東北地区総会・研修会への本部役員出席
 - 7) 全国理事会及び本部役員会の開催・運営
 - 8) 短期大学図書館関係団体懇談会出席
- 以上、承認

議題2. 平成5年度決算報告及び監査報告

- 1) 平成5年度決算報告(毛利理事)
別掲の会計決算資料により報告・承認
- 2) 平成5年度監査報告(関監査)



書類照合審査の結果、適正処理を確認との報告承認

議題3. 役員選出

- 1) 会長推薦理事承認：任期満了に伴う中村洋子氏の後任に、武蔵野美術大学短期大学部美術資料図書館の種市正晴氏を選出。

議題4. 会費規程改正案審議

昨年の総会でも説明があった会費値上げについて審議され、提案どおり可決された。

第1条 正会員 年額 10,000円 → 15,000円

第5条 1. 地区交付金 1館につき

3,000円 → 5,000円

2. 地区活動助成金 1地区につき

60,000円 → 70,000円

附則 この規程は、平成6年4月1日から適用する。

議題5. 平成6年度活動方針案審議〈毛利理事〉

議題6. 平成6年度予算案審議〈毛利理事〉

- 1) 平成6年度総会・見学会開催
- 2) 全国研修会 11月24、25日を予定
テーマ「参考業務と書誌-音楽、地名・地誌-」
於：日販本社ビル
- 3) 会報35・36号の発行
- 4) 「短期大学図書館研究」第14号の刊行および第15号の編集準備
- 5) 地区活動助成
- 6) 全国理事会および本部役員会の開催・運営
- 7) 本部役員地区行事への参加
- 8) 「私立短期大学図書館総覧 1979」の改訂準備
総覧の調査項目の検討を始める予定。

議題7. その他

- 1) 本部役員1名欠員補充の件は会長に一任する。
承認は平成7年度総会で行う。
- 2) 関東・甲信越、中国・四国、東海・北陸各地区の今年度の活動予定を発表。

見学会

総会終了後、亜細亜大学新図書館（地上8階地下2階）を約1時間かけて見学した。21世紀に生き残れる図書館をコンセプトに建築されたとのことで、各階に備えられた先進のOA機器をはじめ工夫された集密書庫などを感嘆の声と羨望のまなざしで見学した。

平成5年度一般会計決算

(収入の部)

勘定科目	予算	決算	差額	備考
会費収入	3,190,000	3,240,000	50,000	
研修会参加費	1,080,000	1,242,000	162,000	
賛助会費	510,000	429,485	-80,515	
出版物収入	100,000	12,740	-87,260	
雑収入	7,583	12,275	4,692	
繰越引当金	1,200,000	1,200,000	0	
前年度繰越	362,417	362,417	0	
合計	6,450,000	6,498,917	48,917	

(支出の部)

勘定科目	予算	決算	差額	備考
事業費	年次総大会	100,000	85,329	14,671
	全国研修会	1,080,000	1,107,778	-27,778
	会報	350,000	232,574	117,426
	紀要	1,000,000	980,400	19,600
地区交付金	957,000	972,000	-15,000	
地区助成金	700,000	590,000	110,000	
IFLA会費	40,000	40,000	0	
会議	本部役員会	180,000	157,380	22,620
	全国理事会	190,000	183,294	6,706
運営費	交通費	210,000	121,280	88,720
	消耗品費	80,000	29,011	50,989
	通信費	160,000	103,587	56,413
	事務局費	120,000	105,000	15,000
	地区参加費	100,000	100,000	0
	雑費	83,000	50,945	32,055
総覧刊行引当金	1,100,000	1,100,000	0	総覧準備金
小計	6,450,000	5,958,578	491,422	
次年度繰越金		540,339	-540,339	
合計	6,450,000	6,498,917	-48,917	

平成6年度一般会計予算

(収入の部)

勘定科目	予算	備考
会費収入	4,845,000	単価15,000×323館
研修会参加費	1,080,000	参加費10,000×80人 懇親会 7,000×40人
賛助会費収入	200,000	広告収入等
出版物売上収入	314,000	紀要等(紀伊国屋買取分284,000円含む)
雑収入	10,661	利息等
繰越引当金	1,100,000	総覧準備引当金
前年度繰越	540,339	
合計	8,090,000	

(支出の部)

勘定科目	予算	備考	
事業費	年次総大会	100,000	年2回 年1回
	全国研修会	1,110,000	
	会報	350,000	
	紀要	1,250,000	
地区交付金	1,615,000	単価5,000円×323館 単価70,000円×7地区+出版助成など280,000円(特別助成金)	
地区助成金	770,000		
I F L A 会費		40,000	
会議費	本部役員会	180,000	
	全国理事会	190,000	
運営費	交通費	210,000	単価15,000円×14人 2人(50,000円×2)
	消耗品費	80,000	
	通信費	160,000	
	事務局費	120,000	
	地区参加費 雑費	100,000 80,000	
総覧刊行引当金	1,735,000		
合計	8,090,000		

地区活動報告 —第34号以後—

〈北海道地区〉

・1994年度役員会及び総会

日時：1994年5月13日(金) 12:00~16:00

場所：北海道女子短期大学

出席者：12館16名

議事：(1)1993年度活動報告(承認)

(2)1993年度決算報告・監査報告(承認)

(3)1994年度活動方針(承認)

1994年度研修会については、図書館の地域開放の取り組み等、事例報告の要望が出されたので、それに沿って内容を検討することとし、日時は8月29日・30日の2日間を予定。

(4)1993年度予算案(承認)

(5)大学・短大・専門図書館相互協力委員会要綱(案)について

当初計画された委員会設置の目的と組織の位置づけが不明確のため、本協議会としては再度の検討を要望する。

・1994年度研修会(予定)

北海道女子短期大学を会場に次の通り実施の予定。

8月29日(月)：講演、事例発表、情報交換

講演：坂本龍三氏(北海道武蔵女子短期大学教授)

事例発表：甲斐陽輔氏(札幌学院大学図書館司書)

木村修一氏(釧路短期大学図書館主任司書)

宮川淳子氏(北星学園大学図書館司書)

8月30日(火)：見学

札幌学院大学図書館、北海道立図書館、北海道開拓記念館

〈東北地区〉

・平成6・7年度の当番校を下記の短大が担当することになり、4月21日に聖霊女子短大において前理事館との引き継ぎを行なった。

理事館 聖霊女子短期大学図書館

幹事館 桜の聖母短期大学図書館

監事館 聖園学園短期大学図書館

盛岡大学短期大学部図書館

・総会の開催が遅いため、平成5年度活動報告・決算、平成6年度事業計画・予算案の承認を文書で求め、承認された(5月14日)

- ・加盟館職員名簿の発行（6月10日）
- ・平成6年度総会・研修会を下記の日程で開催する予定である。
日時：平成6年10月7日（金） 午後1時～5時30分
会場：聖霊女子短期大学 会議室
- 研修内容
加盟館より出されたテーマをもとに、各館の現状と問題点、対策などについて話し合う。
（助言者 秋田大学図書館 戸嶋勇専門員）
 - ①視聴覚資料のサービスと著作権
 - ②資料の収集方針
 - ③寄贈図書取り扱い
 - ④郷土資料取り扱い
 - ⑤資料廃棄の基準、他
- ・未加盟の図書館に当協議会への加盟をお願いするとともに、平成6年度の研修会にオブザーバーとして参加してくれるよう呼びかけている。

〈関東・甲信越地区〉

平成6年

- 3月12日 第5回幹事会（目白学園）
議題：総会及び見学会について
- 5月14日 第1回幹事会（目白学園）
議題 1. 総会開催及び見学会について
2. 合宿研修会下見について
3. その他
- 6月23日 総会及び見学会開催
（総会） 参加20館24人
場所：鎌倉文学館講座室
時間：11：00～12：00
議事①平成5年度活動報告②決算報告
③平成6年度活動方針・予算案
④その他
（見学会）参加21館25人
場所：鎌倉文学館（里見惇展）
時間：12：00～約1時間
- 6月23日 第2回幹事会（鎌倉にて）
議題：総会反省会及び合宿研修会について
- 7月5日 第3回幹事会（亜細亜大学）
議題①合宿研修会について②その他
- 会勢 102館

〈東海・北陸地区〉

1. 平成6年度第1回幹事会
日時：平成6年4月20日（水） 11：30～15：30

場所：北陸学院短期大学

出席者：9館 15名

- 議題：(1)平成5年度事業報告・決算報告及び監査報告について
(2)平成6年度事業計画案・予算案について
(3)役員校担当業務について
(4)平成6年度総大会について
(5)平成7年度総大会会場校について
(6)会長校選出方法について
(7)研修・会報委員会
(9)その他

2. 平成6年度情報交換会

日時：平成6年6月16日（水） 18：00～20：00

場所：兼六荘（金沢市尾山町6-40）

出席者：21校 30名 総大会の前日開催。

3 平成6年度第2回拡大幹事会

日時：平成6年6月17日（金） 9：30～10：00

場所：石川県社会教育センター

出席者：9館 15名

- 議題：(1)平成6年度総大会議事運営について
(2)平成6年度研修会について
(3)会報26号について
(4)会長校ローテーションについて
(5)その他

4. 平成6年度総大会

日時：平成6年6月17日（金） 10：00～15：30

場所：石川県社会教育センター

出席者：28館 41名

〈総会〉

挨拶：私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会会長
北陸学院短期大学ヘッセル記念図書館長 星野命氏
北陸学院長 柿沼敬一氏

議長選出：内規第4条により開催地区幹事

富山女子短期大学図書館長 平田純氏

議事

- (1)会勢報告
名古屋造形芸術短期大学 加盟により45館
- (2)承認事項
a) 平成5年度事業報告、決算報告、監査報告
b) 平成6年度役員改選
c) 平成6年度事業計画案および予算案
- (3)報告事項
北陸部会活動報告
- (4)審議事項
a) 平成7年度総大会会場校について

b) 平成8・9年度の会長校について

c) その他

すべて承認される。

〈講演会〉

「加賀藩の大名行列と北国街道」と題して、加賀藩史料研究家の忠田敏男氏が講演された。

〈見学会〉

石川県立歴史博物館を見学した。

見学終了後、記念撮影をし、すべての日程を終了した。

〈近畿地区〉

I. 幹事会

第5回 1994年4月22日(金) 10:00~12:00

第1回 1994年6月17日(金) 10:30~12:00

第2回 1994年7月15日(金) 10:30~12:00

II. 研修会

第34回 1994年5月18日(水) 15:00~16:30

III. 相互協力委員会

第1回 1994年5月18日(水) 16:30~17:00

第2回 1994年6月17日(金) 13:30~18:00

第3回 1994年7月15日(金) 13:30~17:00

〈第34回研修会〉

日時:1994年5月18日(水) 15:00~16:30

場所:羽衣学園短期大学図書館

講師:羽衣学園短期大学総務部次長 布川嘉佑氏

テーマ:図書館建築と家具等を含めた館内設計

参加者:28館33名

長年図書館に勤務され、図書館建築に何回か携わってこられた布川氏に、図書館サイドからみた建築、家具等についての注意点等を講演していただいた。

〈総会〉

日時:1994年5月18日(水) 13:30~14:45

場所:羽衣学園短期大学学生会館

参加館:30館35名

会長館である、羽衣学園短期大学 福原行三学長の挨拶につき、議長に奈良佐保女学院短期大学の仲井道子氏を選出し議事に入る。

1. 平成5年度会勢・活動報告

加盟館74館(地区所在館:96館 加盟率:77%)

2. 平成5年度会計報告

3. 監査報告

以上2件について報告・説明があり承認された。

4. 平成6年度役員選出

改選の年にあたり役員を選出が行われた。

会長館 大阪成蹊女子短期大学図書館

幹事館 大阪女子短期大学図書館

幹事館 大阪信愛女学院短期大学図書館

幹事館 滋賀女子短期大学図書館

監査館 羽衣学園短期大学図書館

新役員の紹介があり、承認された。

5. 平成6年度事業計画

(事業計画1) 研修会等について

(事業計画2) 相互協力委員会について

前年度の研修会で提案された相互協力のあり方について委員会を設け活動する。メンバーは下記のとおり。

大阪成蹊女子短期大学図書館

大阪女子短期大学図書館

大阪信愛女学院短期大学図書館

滋賀女子短期大学図書館

羽衣学園短期大学図書館

神戸山手女子短期大学図書館

帝塚山短期大学図書館

平安女学院短期大学図書館

関西女学院短期大学図書館

以上2計画案が会長館より出され、承認された。

6. 平成6年度予算

会長館より予算案が提案され、承認された。

〈中国・四国地区〉

1. 役員会

日時 平成6年7月18日(月) 11:00~12:00

場所 加計国際交流センター(岡山県倉敷市)

出席者 3館3名 職員3名

議題 総会・研修金の運営について、その他

2. 総会

日時 平成6年7月18日(月) 12:30~13:30

場所 加計国際交流センター

議事

(1) 平成5年度事業・会計決算報告(承認)

(2) 平成5年度会計監査報告(承認)

(3) 平成6年度事業・予算案(承認)

(4) 私立短期大学図書館協議会理事会・総会報告協議事項

(a)平成7年度総会、研修会開催計画について

(b)次期当番館(平成8・9年度)について

(c)私立短大図書館相互の情報交換をどのようにしていくか

(d)その他

(b)については、手軽に取りくめるものからと当日加盟館の館員名簿を作成して配布した。
また、本年度の事業として「加盟館ガイドブック」(規模、所在地図、所蔵冊数、雑誌数、特徴などを記載)を手づくりで作成配布して情報交換に役立てていただくこととした。

3. 研修会、承合事項 13:30~15:00

- (1)図書館委員会について一目的、性格、構成、選出方法、審議事項、開催回数、課題、問題点
- (2)不明図書などの除籍について
- (3)視聴覚資料の購入について
- (4)研究費図書について

講演 15:20~17:00

講師 私立短期大学図書館協議会顧問(前会長)
鈴木英二先生

演題 「21世紀へ向けての私立短期大学図書館のあり方」

鈴木先生の貴重な体験を踏まえての分かりやすい講演で、図書館の将来を担う実務担当職員へ数々の具体的な示唆と教訓をいただいた。なお鈴木先生の派遣にあたり、協議会本部より格別のご配慮とご助成を賜り感謝申し上げます。

実務研修

日時 平成6年7月19日(火) 9:00~10:30

場所 倉敷市芸文館(岡山県倉敷市)

講師 岡山理科大学図書館事務長兼総務課長
衛藤廣隆氏

演題 「学術情報センターの実際について」

出席者からの要望もあり、前記内容の実務研修を行った。貴重な関係資料を沢山用意していただき、参加者から直接役立つ研修を受講できたと喜んでいただいた。

講演と施設見学 10:40~11:50

講師 倉敷市芸文館館長補佐 佐藤善次先生

演題 「倉敷市文化財団と倉敷市芸文館」

文化財団理事長 三浦朱門氏、芸文館館長 村松英子氏、と豪華メンバー。豊かな伝統文化のうえに新たな市民文化を創るため芸術文化創造の拠点として建設された素晴らしい施設である。総工費99億円を要し、885人収容の中型ホールは演劇を主体とした高度な催しが次々と行われている。舞台、音響、照明、観客席など最新の技術を駆使し、細かい配慮がされており、全国に誇れるホールとして評価されている。

別館としてアイシアター200人収容、大山名人記念館ほか公園などが整備され、地方文化発信基地として躍進する倉敷市文化財団と、その拠点の一つである芸文館の説明を聞き、施設を見学させていただき参加者一同感銘をうけた。

参加者 14館 22名

〈九州地区〉

1 機関誌「ニューズレター」No.17(平成6年3月14日)発行。担当館:福岡女子短期大学。

記事項目は次のとおり。

《特集》:データベース検索についての集計結果

2 新規加盟館(平成6年4月)

九州造形短期大学図書館

〒813 福岡市東区松香台2-3-2

TEL 092-673-5188

3 平成6年度総会・研修会

期日:平成6年4月21日(木)

会場:宮崎市瀬頭2-1-10 みやざき会館

当番館:宮崎女子短期大学図書館

◇ 総会

1) 開会のことば

2) 議長選出

3) 新規加盟館紹介

4) 新任者紹介

5) 会長館報告

6) 平成5年度決算報告および監査報告

7) 平成6年度事業計画および予算案審議

8) 協議事項

①平成8~9年度会長館の選出ブロックについて

②九州地区大学図書館協議会との関わり方について

③その他

9) アンケート集計結果報告(データベース検索について)

10) 九州地区私立短期大学協議会役員一覧、総会・研修会一覧、主な事業および加盟状況一覧について

11) 次期役員館の選出・挨拶

◇ 研修会

1) LICS-UとUNIXによる図書館システムーコンピュータは永遠の未成品ー(0HP使用)
鹿児島純心女子短期大学図書館 川路孝和

2) パソコン1台で利用できる学術情報センターとインターネット

筑紫女学園短期大学図書館 山本鉄二郎

◇ フリートーク

中国・四国地区協議会総会に出席して

鈴木 英二

去る7月18、19の両日、倉敷市で開催された本年度定期総会に、本部から派遣されて出席させていただいた。

第1日目の会場は、会長校順正短大ゆかりの加計国際学术交流センター。開会は午後1時、参加者は約30名。総会行事のほか協議、情報交換等が行なわれたが、私は遠路ということで、講演開始の時刻までに到着すれば結構とのご好意に甘え、私が会場に到着したのは以上の行事を終了し、ちょうど休憩に入ったところであった。

3時20分から講演。与えられた演題は「21世紀へ向けての私立短大図書館のあり方」であった。

この10年、短大図書館はハード面での進歩には見るべき点が多い反面、ソフト面では残された問題も多い。その最大の問題が教育＝学習を支える図書館として十分に機能していないという点である。これは教育そのものに起因するのであるが、図書館は教育変革の原動力となることも求められている。今回の短期大学設置基準の改訂は教育の変革を促すものであり、図書館に関する条項は今後の図書館のあり方の指針とすべきものであろう。

教育図書館として機能させるためには、今後各種メディアの収集と管理・運営を一元化すること、学生用資料費を別枠で確保し資料収集には学生の興味・能力を十分配慮すること、利用教育を徹底すること、図書館運営・選書に学生を参加させることなども必要かと思われる。さらに、図書館員は自校の教育課程に通曉し、教員との連携を密にし教育活動の支援に十全を期さなければならない。そのためには、図書館員は文献・情報のスペシャリストでなければならない、絶えざる研修が求められる。

以上、平素考えていることの一端を披露したのであるが、散漫な話に終始し汗顔の至りであった。

5時過ぎ記念撮影に続き同センター1階のレストランで参加者全員による懇親会が開催され、親交を深めた。

第2日目は会場を市が誇る倉敷芸文館に移し、岡山理科大学図書館の衛藤廣隆氏の「学術情報センター利用の実務について」と題する講話があり、引き続き芸文館佐藤善次副館長の芸文館についての説明をお聞きし、同副館長の案内で同館の隅々まで見学、全日程を終了した。

中・四国地区の加盟館は30館、今回の参加者約30名は立派であった。今後とも地理的な悪条件を克服し、役員を中心に地区としてまとまりを維持・発展させていきたいものである。「団結は力なり」である。

(本協議会顧問)

新規加盟館紹介

〈九州造形短期大学図書館〉

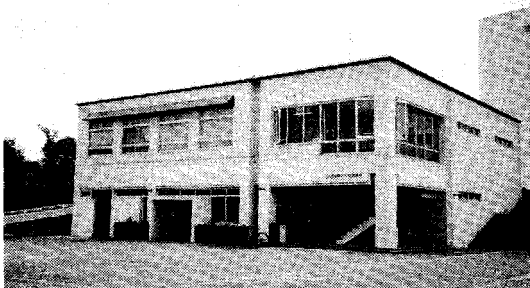
本学は、昭和43年4月に開学し、当初建物の一郭に図書室が開設された。その後、入学定員や図書収容冊数の増加に伴い、昭和61年8月キャンパス中央部に鉄筋コンクリート二階建の図書館がオープンし、今日に至っている。

図書館の概要は、1階より階段を上ると正面入口となり、室内はブックディテクションを通ると左手が閲覧室(152㎡、51席)、正面にカウンターがある。

2階の書庫(88.92㎡)入口は、カウンター右手より入室、1階書庫(85.80㎡)までは階段となっている。書庫内は全面開架式を採用しているため、利用者が自由に出入りができ、借りることができる。また禁帯本は書庫から取り出して閲覧室で閲覧できるようになっている。

現在の蔵書冊数は研究図書を含めて約3万冊となり、年々増加しているため、本年7月、閲覧室に書架を備え、参考図書約600冊を書庫より移動配置したところ、利用しやすいと好評を得た。

現在館員3名で対応しているが、小規模図書館なりに利用者サービスをどうしたら良いか等を考えながら、少しでも充実させたいと館員一同張り切っているしだいである。



〈香蘭女子短期大学図書館〉

本学図書館は1983年8月に完成した総合ライブラリーの3階と4階にある。

本学は福岡市の南、大橋に位置し1958年開学、現在被服科・家政科・保育科・秘書科・国際教養科の5学科を擁する。どの学科でも女性としての特性を生かしながら、社会の重要な役割を果たす現代女性を育成する教育を行っている。また韓国・台湾・中国からの留学生が約40名在籍している。

図書館の規模と内容(図書館専用部分)



4階 閉架書庫	272 m ²
3階 開架書庫	571.2 m ²
閲覧席数	78 席
ラウンジ	16 席
図書収容能力	約 95,000 冊
現在蔵書数	約 58,000 冊
年間受入冊数	約 2,000 冊
雑誌種数	210 種
新聞種数	17 種

☆特色 小規模ながら教職員、学生の要望に応じた文献や資料を集める事によって年々利用者が増えている。学生は授業の空き時間に気軽に利用する様になった。

外部データベースの利用により即時検索が出来、情報収集が容易である。

☆今後の課題 最近ではAV資料を授業で利用する事が多い為毎年AV資料が増える一方であるが、本学図書館はAVコーナーを所有していない為利用者が館内での視聴が出来ず、今後のあり方に頭を悩ませている。

外部データベースは利用しているものの現在主な業務に関しては、機械化されておらず貸出・受入から貸出しまですべて手作業で行なっている。機械化する事により蔵書管理が確実に出来、利用者へのサービスも充実するであろう。コンピューター導入の問題は本学図書館を発展させる上で大きな課題である。

〈北海道文理科短期大学図書館〉

本学の図書館は、1950年に酪農学園短期大学図書館として発足し、1960年より酪農学園大学附属図書館と併設された。

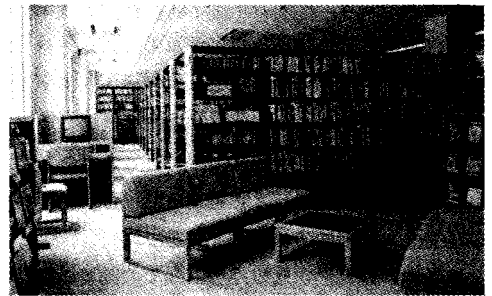
施設の概要は、鉄筋2階（積層書庫3階）で延床面積1,785m²、蔵書収容能力20万冊、閲覧座席250席となっている。業務処理は1988より、学術情報センター・システムを中心にした受入から貸出までのトータルな電算システムを構築している。しかし、システムの陳腐化に伴い、現在リプレスを検討中である。

利用上での特色は相互利用件数が比較的多く、また最

近ではCD-ROMによる文献検索が、オンライン検索をしのぐニューメディアとしてよく利用されている。

〈お詫びと訂正〉

前号（第34号）の「新規加盟館紹介」で土佐女子短期大学図書館の写真を取違えました。ここにお詫びして改めて同短大図書館の写真を掲載いたします。



土佐女子短期大学図書館

— 本部報告 —

〈会勢〉

北海道	20	近畿	74
東北	15	中国・四国	30
関東甲信越	103	九州	36
東海・北陸	45	計	323 館

〈新規加盟館〉

①九州造形短期大学図書館

〒813 福岡市東区松香台2丁目3-2

☎ 092-673-5188

〈退会館〉

①比治山女子短期大学図書館（4年制大学へ改組）

②広島女学院大学短期大学部図書館（短大部閉鎖）

〈本部役員会〉

平成6年度第1回 14:30~18:00

日時：平成6年4月8日（金）

場所：相模女子大学附属図書館

議題：

①「短期大学図書館研究」第14号について

②平成5年度決算について

③平成6年度事業計画及び予算案について

④平成6年度全国理事会及び総大会について

平成6年度第2回 14:30~17:30

日時:平成6年5月2日(月)

場所:文化女子大学図書館

議題:

- ①「短期大学図書館研究」第14号について
- ②平成6年度予算案について
- ③平成6年度全国理事会及び総大会について

平成6年度第3回 14:30~17:30

日時:平成6年7月6日(水)

場所:跡見学園短期大学図書館

議題:

- ①「短期大学図書館研究」第14号について
- ②短期大学図書館全国研修会について
- ③会報第35号について

<全国理事会>

日時:平成6年5月26日(木) 14:00~17:00

場所:文化女子大学会議室

議題:

- ①本部及び各地区活動報告について
- ②平成6年度総大会について

<本部役員人事>

5月27日に開催された平成6年度総会において、次の本部役員人事が承認された。

- ・会長推薦理事の承認:中村洋子氏(東京立正女子短大図書館)の退任に伴う後任理事として、種市正晴氏(武蔵野美術大学短大部美術資料図書館)を推薦。なお、あと1名の欠員補充については、会長一任となった。中村さん、2年間ご苦労さまでした。

<本部役員名簿>

会長 安部 竺巳(聖徳大学短期大学部)

☎ 0473-65-1111

監査 関 篤(和洋女子短期大学図書館)

☎ 0473-71-1111

監査 古賀実生(千葉経済大学短期大学部図書館)

☎ 0423-255-3451

理事(庶務・会報) 吉岡啓彦(相模女子大学短期大学部図書館) ☎ 0427-42-1411

理事(会計) 毛利和弘(亜細亜大学短期大学部図書館) ☎ 0422-54-3111

理事(会報) 菅原春雄(文教大学女子短期大学部) ☎ 0467-53-2111

理事(研修) 平井紀子(文化女子大学短期大学部図

書館) ☎ 03-3299-2391

理事(研修) 平塚悦子(跡見学園短期大学図書館) ☎ 03-3943-1368

理事(紀要) 種市正晴(武蔵野美術大学短期大学部美術資料図書館) ☎ 0423-42-6004

<平成6年度地区理事名簿>

北海道地区 松永圭朔(北海道女子短期大学図書館) ☎ 011-386-8011

東北地区 北条常久(聖霊女子短期大学図書館) ☎ 0188-45-4111

関東甲信越地区 毛利和弘(亜細亜大学短期大学部図書館) ☎ 0422-54-3111

東海・北陸地区 星野 命(北陸学院短期大学ヘッセル記念図書館) ☎ 0762-44-2080

近畿地区 鹿内健彦(大阪成蹊女子短期大学図書館) ☎ 06-340-1515

中国・四国地区 薄井正孝(順正短期大学図書館) ☎ 0886-22-3517

九州地区 筑山信昭(九州龍谷短期大学図書館) ☎ 0942-85-1121

会費の値上げについて

去る5月27日の平成6年度総会において、会費値上げ案(1万5千円)が承認されました。各加盟館では財政事情厳しき折柄、ご理解あるご協力を頂き感謝に堪えません。今回の値上げは早速、本年度から実施することになりますので、各地区での会費支払い方をよろしくお願いたします。この会費値上げにより、資金繰りの苦しい「短期大学図書館研究」の発行や懸案である「短期大学図書館総覧 改訂版」の刊行計画などがスムーズに運ばれるものと期待されます。今後共、本部役員会へのご援助をお願いする次第です。

平成6年度全国研修会のご案内

本協議会主催の平成6年度短期大学図書館全国研修会を下記により開催いたします。本部役員会では鋭意その準備に取り組んでいますが、9月下旬までには各館にご案内の文書が届くと思います。今回も多数の方が参加されるよう切望いたします。

記

日時:平成6年11月24日(木)~25日(金) 9時~17時

場 所：日本出版販売㈱ 本社ビル会議室

テーマ：「参考業務と書誌」第9回

講 演：「ミュージック・ライブラリーの時代」

—音楽情報へのアクセスをめぐる—

松下 鈞氏（国立音楽大学附属図書館）

講義・演習 「音楽情報調べの基礎知識—4W1H—」

松下 鈞氏（国立音楽大学附属図書館）

梅田英春氏（ " " ）

講義・演習 「地名・地誌—日本と外国—」

北原罔彦氏（日外アソシエーツ）

地区特別助成（出版助成）について

本協議会は各地区の特色ある出版活動に対し、特別助成を行うための予算を計上しています。前年度は関東甲信越、東海北陸、近畿の3地区に対し援助を行いました。本年度も28万円の予算を計上していますので、下記により各地区からの申請を早目にご提出下さい。

記

- 書式：B5サイズ（横書き）
- 記入事項：①件名、②目的、③配布対象・数量、
④見積書又はこれに準ずる資料、⑤刊行時期、
⑥その他審査に必要と思われる資料
- 送付先：〒228 相模原市文京2-1-1
相模女子大学短期大学部図書館
（庶務担当理事）吉岡啓彦

原稿募集 —「短期大学図書館研究」第14号—

本協議会発行の「短期大学図書館研究」第15号の原稿を募集しています。第15号の特集テーマは“短大図書館の自己点検・評価を考える”としました。会員の皆様からのご投稿をお待ちしています。この他の一般論文、事例報告でも結構です。

- 原稿枚数：指定原稿用紙（22字×15行）30枚前後
- 原稿締切：平成7年1月末日
- 送付宛先：〒187 小平市小川町1-736

武蔵野美術大学短期大学部美術資料図書館
種市正晴宛 ☎ 0423-42-6004
FAX 0423-42-6451

なお、詳しい原稿募集要項、執筆要項は同誌第14号の巻末をご参照下さい。

IFLA出版物について

本協議会はIFLA（国際図書館連盟）に加盟しております。これに伴い、協議会宛に下記の出版物が郵送されて来ています。会員校で閲覧ご希望の方は、庶務担当理事館 相模女子大学短大部図書館（吉岡）までご連絡願います。

①IFLA JOURNAL（季刊）

最新号（Vol. 20, No 2）の目次紹介

E. Sebién—Libraries and Library Science in Cuba

R. Bowden—Professional Responsibilities of Libraries and Information Workers

A. Stephens—Life Cycle Costing in Libraries

A. Rugaos—Relations between the IFLA Section on National Libraries and CDNL

C. A. Summerhill—An Overview of the Global Internetworked Information Infrastructure

L. Holm—The Technical Side; OSI and TCP/IP, FTP, TELNET, SR, ILL

IFLA Reports

IFLA News

②IFLA NEWSLETTER（年2回刊）

③IFLA ANNUAL（年刊）

JLA短大図書館部会だより

JLA短大図書館部会では、去る7月8日に本年度第1回幹事会を開催し、下記の1994年度幹事メンバーを確定した。

部会長	安部 登巳（私立）	聖徳大学短大部
副部会長	清宮 剛（公立）	山形県立米沢女子短大
幹事	草間 俊郎（ " ）	神奈川県立栄養短大
"	大野 裕（ " ）	愛知県立看護短大
"	本倉 真吾（ " ）	姫路短大
"	陸川 博（私立）	跡見学園短大図書館
"	松井 将子（ " ）	杉野女子短大部図書館
"	森 章江（ " ）	千葉経済短大部図書館
"	吉岡 啓彦（ " ）	相模女子短大部図書館
"	大原 啓道（国立）	米子工業高等専門学校
事務局	椎名 仙卓（私立）	聖徳大学短大部図書館

◀編集後記▶

会員校の皆様、酷暑の夏を何とか乗り切ったことと思います。

会報第35号これも何とか9月中旬にお届けできました。平成6年度総会、名地区報告、本部報告が中心です。（吉岡）

私立短期大学図書館協議会規約

(名称)

第 1 条 本会は私立短期大学図書館協議会と称する。

(目的)

第 2 条 本会は、私立短期大学図書館相互の連絡並びに研究にあたり、図書館の発展向上を図ることによって私立短期大学の使命達成に寄与することを目的とする。

(会員)

第 3 条 本会の会員は次の 2 種とする。

1. 正会員 本会の趣旨に賛同する私立短期大学図書館
2. 賛助会員 本会の事業を賛助する団体および個人

(事業)

第 4 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため、次の事業をおこなう。

1. 会報等の発行
2. 短期大学図書館に関する調査研究および知識の普及
3. 研究会・講習会などの開催ならびに研究等の助成
4. その他 2 条の目的達成のため必要と認められる事業

(役員の種類)

第 5 条 本会に、次の役員を置く。

1. 会長 1 名
2. 理事 20 名以内 (内 1 名は常任理事とする)
3. 監査 2 名
4. 幹事 若干名

(役員を選出)

第 6 条 会長・監査は総会で正会員の中より選出する。理事は、地区協議会が選出したもの (以下地区理事という) および、会長が推薦し総会の承認を得たもの (以下推薦理事という) とする。常任理事は、理事の互選によりこれを定める。幹事は、理事会の議を経て会長が委嘱する。役員については、在職する会員校の承認を経て個人をあてる。

(役員の仕事)

第 7 条 会長は、この会を代表し会務を総理する。常任理事は、会長を補佐し、会長事故あると

きはこれを代理する。

理事は、理事会を組織し、重要な会務を審議決定する。

監査は、この会の会計を監査し会長に報告する。幹事は、会務の処理に関して会長を補佐し執行する。

(役員の仕事および欠員の補充)

第 8 条 役員の仕事は 2 年とする。但し、再選を妨げない。理事および監査に欠員を生じた時は、補充する。この場合における役員の仕事は、前任者の残任期間とする。役員は、その仕事が終わった場合においても、後任者が決定するまでの間は、その任務を継続しておこなう。

(名誉会長)

第 9 条 本会に名誉会長を置く事ができる。

名誉会長、本会の会長として功労のあった者に対して、総会の議を経て推挙する。

(顧問)

第 10 条 本会に顧問を置くことができる。

顧問は総会で推挙され、重要な会務について会長の諮問に応ずる。

顧問の仕事は 2 年とする。

(会議)

第 11 条 本会の会議は、総会および理事会および役員会とする。

総会は、会長が招集し、その議長は総会で選出する。

定期総会は、毎年 1 回開催する。但し、必要ある時は、臨時総会を開催することができる。

総会は、その構成員 (正会員校) の 5 分の 1 以上の出席がなければ成立しない。但し、構成員で出席できないものが、書面をもって自分の意志を表示するか、又は他の構成員に表決権を委任したときは、総会に出席したものとみなす。議決を要する事項は、出席員の過半数をもって決定し、可否同数の時は、議長の決めるところによる。

総会は次の事項を審議決定する。

1. 主要な事業計画並びに事業報告の承認
2. 年次予算の決定並びに決算の承認
3. 規約および規程の改正

4. 会費の件
5. 会長および監査の選出
6. 推薦理事の承認
7. その他運営に関する重要事項

理事会は会長が招集し、その議長となる。

理事会は、緊急案件については総会に代って、その権限をおこなう。但し、次期総会において承認を得なければならない。

役員会の構成、会の運営に関しては別に定める役員会規程による。

(地区協議会)

第 12 条 本会は、全国を数地区に分ち、地区協議会を設け地区活動を推進する。地区の分割および地区協議会に関する通則は、別に定める。

(会 計)

第 13 条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は別に定める会費規程による。本会の会計年度は、毎年4月1日より始まり、翌年3月31日を以って終わる。

(事務局)

第 14 条 本会に事務局をおき、その場所は理事会の承認を得て会長が定める。

(会則の改正)

第 15 条 この規約の改正は、総会の議を経なければならない。

附 則

1. この規約は、昭和53年10月13日から施行する。
2. この規約は、昭和54年5月31日から施行する。
3. この規約は、昭和57年4月1日から施行する。
4. この規約は、昭和59年5月25日から施行する。

会 費 規 程

制定 昭和56年5月29日

制定 平成元年5月23日

制定 平成6年5月27日

第 1 条 規約第13条の定めるところにより、会費は次のとおりとする。

正会員 年額 15,000 円

賛助会員(1口) 年額 10,000 円

第 2 条 会費は、毎会計年度初めに納入しなければならない。

第 3 条 年度途中から入会した場合も、納入すべき会費は同一とする。

第 4 条 会費納入を怠った会員に対する処置は次のとおりとする。

3月末迄に当該年度の会費を納入しない場合には、会報および紀要の配布を保留する。

2年度にわたって会費を納入しない場合は、自然退会とする。

第 5 条 会費収入の内、地区協議会に対して下記の額を交付する。

1. 地区交付金 加盟館1館につき5,000円

2. 地区活動助成金 1地区につき70,000円

第 6 条 この規程の変更は、総会の承認を必要とする。

附 則

この規程は、昭和57年4月1日から施行する。

この規程は、平成2年4月1日から施行する。

この規程は、平成6年4月1日から適用する。

地 区 協 議 会 通 則

第 1 条 規約第12条の定めるところにより、次の地区協議会をおく。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 北海道地区 | 2. 東北地区 |
| 3. 関東甲信越地区 | 4. 東海・北陸地区 |
| 5. 近畿地区 | 6. 中国・四国地区 |
| 7. 九州地区 | |

② 前項の地区協議会は、原則としてその地区に所在する図書館をもって組織する。

第 2 条 地区協議会は、その会則、役員および会員名簿を私立短期大学図書館協議会長に届出なければならない。

② 前項の届出事項に変更が生じたときもまた同じ。

第 3 条 地区協議会は、本部と密接な連絡のもとに自主的な活動をおこなうものとする。

第 4 条 地区協議会に次の役員をおくことができる。

1. 地区協議会長
2. 幹 事
3. その他

第 5 条 前条の役員のうち地区協議会長は、私立短期大学図書館協議会理事とする。

第 6 条 地区協議会の経費は、私立短期大学図書館協議会の交付金その他の収入をもってあてる。

第 7 条 地区協議会長は、毎年1回以上その事業並びに会計報告を私立短期大学図書館協議会長に提出しなければならない。